



Level 4-5

2019年度
第1回



けんてい
検定開始の合図があるまで問題を開いてはいけません。

まず、下記の注意をよく読んでください。

けんていじょう
□ 検定上の注意 □

- けんてい
1. 検定時間は 60 分です。
- けんていかいしまえ
2. 検定開始前に答案用紙に受検番号・氏名・生年月日を必ず記入してください。
- けんてい
3. 検定が始まって、印刷が見えにくかったり、ページがおかしかったりしたら、手をあげて
かんとくしゃ
監督者に知らせてください。
4. 問題のあいているところは自由に利用してください。
5. 問題は、答案用紙と一緒いっしょに回収します。

じゅけんばんごう
受検番号

氏名

《問題Ⅰ》 次の問いに答えなさい。

第一問

□に入る言葉を、後の【言葉】ア～オの中から選んで慣用句を完成させなさい。また、それぞれの意味を【意味】カ～コの中から選んで答えなさい。

(1) □
ごっこ

(2) □
に塩

(3) □
をかじる

【言葉】 ア 草の根 イ 青菜 ウ すね エ 鬼おに オ たち

【意味】 カ 経済的に自立できず、親や兄弟姉妹に頼たよって生活する。

キ いざという時に使う最後の手段しゅだん。

ク 同じことを何度もくり返し、解決かいけつしない。

ケ すっかり元気がなくなってしまう。

コ より良い状態じょうたいにするために補おぎなう。

第二問 次の言葉の意味にあたる二字熟語を、後の漢字を使って作りなさい。

(1) 思いやりがないこと。

(2) あきらめること。

(3) そのままにして、ほうっておくこと。

思 情 談 念 置 方 放 年 断 失 無 地

第三問 () の中の正しい漢字を答えなさい。

(1) 次の(冬期・冬季)オリンピックは二〇二二年だ。

(2) 勉強から(解放・開放)されたい。

(3) かれは(以外・意外)な特技とくぎを持っている。

(4) 父の会社で人事(異動・移動)が発表される。

第四問 最も適切な熟語を選び、カタカナを漢字に直しなさい。

(1) 好きな野球選手が（ ）した。

インタイ ヘンタイ ハイタイ

(2) 学校から自転車通学の（ ）を得る。

コンキョ キョカ キョウカ

(3) 明日の遠足の（ ）をする。

コウギ ジュンビ ジュンイ

第五問

次の語句をならべかえて、例にならって一文を作りなさい。また、——線部のカタカナは、漢字に直しなさい。ただし、解答欄の□には主語、□には述語が入り、—の後は助詞が入ります。

【例】 通っている の は に ダイガク 姉 わたし 。

わたし — の □ 姉 — は □ 大学 — に □ 通っている 。

(1) 農薬 の は に サンプする 少量 畑 を 父 。

(2) ヨボウ つける を かぜ に の の ため マスク 。

《問題Ⅱ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次のア～カの中から、主語がふくまれていないものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 学校の図書室で本を三冊^{さんさつ}借りた。
- イ となりの家の犬がにげ出した。
- ウ 大雪のえいきょうで、電車が運休した。
- エ 公園の古い遊具がてつ去された。
- オ 人気ラーメン店の行列に一時間もならんだ。
- カ 電車の中が遠足帰りの子どもたちで混雑^{こんざつ}している。

第二問 例のように、問題文を図に当てはめたとき、

記号で答えなさい。

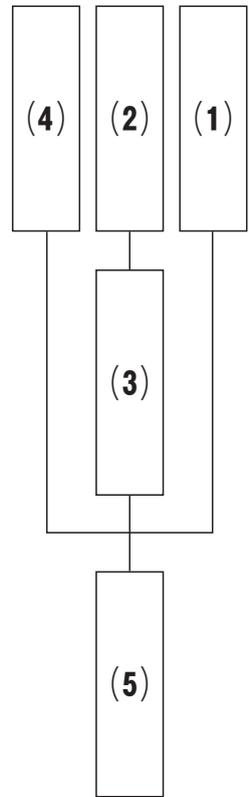
【例】 ぼくの 母は 音楽が 好きだ。



(3)

に当てはまる言葉をア～オの中から選び、

【問題】 ア 祖母は イ いつも ウ 赤い エ つえを オ 使っている。



第三問 次の文章の (1) (2) に当てはまる接続語を、後のア～オの中から選び、記号で答えな

さい。

「日本の〇〇が世界遺産に登録された」というニュースを目にすることがある。世界遺産に登録される地域ちいきの知名度が上がり、観光客が増え、地域の経済けいざいが活性化かつせいするなど良い面もある。(1)、世界遺産に登録されることによって起こる問題も存在そんざいしている。(2)、観光客が増えることによって、保護ほごするべき世界遺産自体が傷きずついてしまうことや、観光客用の宿泊施設しゅくはくしせつが増えることによって、周辺の景観が悪くなることなどが挙げられる。世界遺産に登録されたことを喜よろこぶばかりではなく、問題が起おこらないように対策たいさくすることも必要なのだ。

ア つまり イ なぜなら ウ たとえば エ だから オ しかし

《問題Ⅲ》 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(山の近くでたき火をしながら歌をうたうと一寸法師の小僧が火に当たるために山から飛んでくるといいうわさを聞いた村の子どもたちが、毎日のようにたき火をして、歌をうたいながら踊りまわって遊んでいる。)

ある日もまた、皆でその遊びに夢中になっていきますと、山の方からさつと風が吹いてきて、青い空にゆるく立ち昇っていたたき火の煙が、ゆらゆらと乱れかけるとたんに、高い所で、アハハハ……と大きな笑い声がしました。子供達はびっくりして、歌も踊りも止めて見上げますと、髪の毛のまっ白な白髭の大きなおじいさんが、煙の中にぼんやり浮き出して、にこにこ笑っています。おや！ と思うまに、おじいさんの姿はすーっと消えてしまいました。

皆は夢でもみたような気がしました。けれども、とにかくおじいさんの姿が煙の中に実際見えたのです。一寸法師の小僧ではなくて人の何倍もある大きな白髪白髭のおじいさんでしたけれど、ちっとも恐くないやさしい顔つきで笑っていたのです。

子供達はそれに元気づきました。そしてやはり毎日のようにそこへ来て、たき火をして遊びました。すると、必ず一度は煙の中におじいさんの笑い声が聞こえて姿が見えました。けれどそれはいつも、ほんのちよつとの間だけでした。

「(1) 」と皆は思いました。

そしていろいろ知恵をしぼって、おじいさんを呼び出す手筈をきめました。

そこで、その日はいつもよりたくさんに枯枝や落葉を拾ってきて、中には生木の枝までも交えて、煙が多く出るようにしました。皆はそれに火をつけてから、歌をうたい踊りをおどりながら、煙の中をじっと横目

で見つめていました。やがていつもの通り、山の方からさつと風が吹いてきて、濃い煙がゆらゆらと横倒しに動くたん、アハハハハという高笑いと一緒に、おじいさんの姿がはっきり煙の中に現われました。そらッ！ というので、みんなは立ち止まって、中の一人が話しかけました。

「(2)」

もう消えかけていたおじいさんの姿が、またにわかにはっきりしてきて、やさしい声で返事をしました。「わしは山から来たのだ」

すると、待ち構えた次の子供が言いました。

「(3)」

「そうさね」とおじいさんはちょっと考えるようなきつい顔つきをしました。「いや、まあ止そうよ。わしは山のじいさんで、お前たちと一緒に遊ぶと、お前達が風邪をひくかも知れないのだ」

すると今度は、三番目の子供が言いました。

「おじいさん、僕達が火を燃やしてる間は煙の中に残っていてくれない？ (4)」

「アハハハハ」とおじいさんは笑いました。「何とかかとか言つて、わしを引きとめるつもりだな。だがわしは、いつまでも一つの所にじっとして居れないのだ。そんなにわしを引きとめておきたいなら、わしを捕まえてごらん。明日、わしはお前達のたき火の煙の中にいて、姿を見せないから、そのわしを捕まえてごらん。みごと捕まったら、ごほうびを上げる」

そう言うかと思うと、おじいさんの姿はもう消えてしまいました。

子供達は当が外れて、しばらくぼんやりしていましたが、やがておじいさんの約束を思い出して、また元気づきました。そしておじいさんを捕まえてやろうと決心しました。

それは容易なことではありませんでした。煙の中にいる姿の見えない人を捕まえるのですから、それこそ

まったく雲をつかむようなものでした。皆でいろいろ相談したが、よい工夫もつきませんでした。そのうちに、ある一人がふとおもしろいことを考えついて、それを皆に話しますと、皆は手を叩いて喜びました。それならきつと捕まえられると思いました。

翌日よくじつになって、村の人達がたんぼの仕事に出て行った後で、子供達は皆集まって、大変大きな紙の袋をこしらえました。それを持って、山のふもとの林の所へまいりました。

それで、いつもの通りたき火をしました。けれど、あまりたくさん煙が出ないようにと、枯枝や枯葉を少ししか集めませんでした。それに火をつけて、煙が立ち始めると、皆は大きな紙袋の口を広げて、その中へ、煙をみんなあおぎ込んでしまい、そのあとをしっかと紐ひもで結ゆわえました。おじいさんが煙の中にとすれば、もう煙と一緒に袋の中にはいつてはるはずです。

「(5) ()」と言って皆は踊り上がって喜びました。

ところが、袋は大きくふくらんでそこに転がってきりで、中におじいさんがいそうなようすも見えませぬ。「おじいさん、おじいさん！」と呼んでも、何の返事うたがもありません。子供達は疑い始めました。そして、中をちよつとのぞいてみることにしました。

皆集まって、大きな紙袋の横の方を少し破やぶいて、中をのぞこうとしました。すると、その破れ目から、中の煙がふーっと出て来ました。皆はあわてて、破れ目を押おさえました。がもう間に合いませんでした。外に出た煙の中に笑い声がして、おじいさんの姿が現あらわれました。

おじいさんは、あつげにとられてる子供達を見下ろしながら、笑顔をして言いました。

「お前達はえらいことを考えついた。わしを袋の中へ入れてしまったな。だが、袋の横腹よこばらを破つてのぞいたのがいけなかった。煙は上へ上へと昇るものだから、下からのぞくとよかったのだ。……それにしても、と

にかくお前達はえらい。ごほうびに、明日から、この林の中にいっばいきのこがはえるようにしてあげよう。ただ、それを取る時には、ありがとうと言わないと、きのこはみななくなってしまうから、よく覚えておくれがよい」

そして、おじいさんの姿は消えてしまいました。

豊島与志雄「お山の爺さん」

(表現の一部を改めた)

第一問 (1) ~ (5) に入る文を、次のア~オの中から選んで、記号で答えなさい。

ア おじいさんはどこから来たの？

イ それともおじいさんは僕達が恐いの？

ウ あのおじいさんを煙の中から呼び出して、一緒に遊んでみたいなあ！

エ おじいさんを捕まえた、捕まえた

オ おじいさん、煙の中から出て来てくれない？ 一緒に遊ぼうよ

第二問 —— 線部①「おじいさんの約束」とありますが、それはどんなことですか。四十字以内(句読点を

をふくむ)で答えなさい。

第三問 —— 線部②「子供達は疑い始めました」とありますが、それはなぜですか。四十字以内(句読点を

をふくむ)で答えなさい。

第四問 次のア～オについて、本文の内容に合うものには○、合わないものには×を書きなさい。

- ア おじいさんは人よりも大きく、やさしい笑顔をしている。
- イ おじいさんを呼び出すために、いつもよりたくさんえだの枝などを燃やした。
- ウ おじいさんは山に昔から住み続けている。
- エ おじいさんを捕つかまえる方法はすぐに思いついた。
- オ おじいさんは捕まえたごほうびとして、高級なきのこをくれた。

《問題Ⅳ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次の文章の要点をまとめると、(1) ～ (3) にはどんな言葉が入るか、文中から抜き出

しなさい。

ラクダは、気温が高く、太陽が照りつける砂漠という過酷な環境の中、飲まず食わずでも数日間生きることができません。えさを食べなくても大丈夫な理由は、ラクダの背中にある大きなこぶにあります。ラクダの特徴でもあるこぶの中には脂肪がたくわえられており、ラクダはえさが見つからないとき、こぶの中の脂肪を使うことで必要な栄養を得ることができのです。そのため、えさを食べないとラクダのこぶは小さくなっていきます。また、ラクダは水を飲むとき、一度に一〇〇リットル前後もの大量の水を飲みます。その大量に飲んだ水を血液中にたくわえておくことができるため、数日間なら水を飲まなくても大丈夫なのです。

【要点】

(1) は (2) に脂肪、(3) に水をたくわえているため、飲まず食わずでも数日間生きることができるといえる。

第二問 次の文を正しい文にするためには、どの言葉をけずるのがよいか、その言葉を抜き出しなさい。

家の 冷蔵庫れいぞうこに とも ほとんど 食材が 残っていない。

第三問 次の言葉をならべかえて一文を作りなさい。ただし、一つだけ使わない言葉があります。

大勢おおぜいの 守っている 一人が 大統領だいてうりやうを アメリカの 護衛ごえいが 演説えんぜつする 。

第四問 次の二文を組み合わせて一文にしなさい。

- ① パトカーが赤い車を追っている。
- ② ぼくの目の前をパトカーが通り過ぎすた。

第五問 A・B・Cの三つの文を順番を変えずに、一文にしなさい。

- A ぼくは外国人に英語で道をたずねられた。
- B しかし、上手に説明することができなかった。
- C だから、英語の勉強をもっとがんばろうと思った。

《問題V》 次の先生と生徒たちの会話を読んで、後の問いに答えなさい。

先生…今日は「地産地消」について、学びましょう。地産地消の意味を知っていますか。

大山…地域ちいきでとれた農産物をその地域で消費しょうひすることです。昔は交通手段しゅだんが限かぎられていたことなどから、どこも地産地消でしたが、交通網こうつうもうの発達などにより失われていきました。

先生…その通りです。そんな地産地消ですが、近年あらためて注目されるようになりました。その理由は地産地消にさまざまな利点があるからなのですが、どのようなものだと思いますか。

糸井…スーパーマーケットに買い物に行ったとき、母親が「どんな農産物が使われているかわからない外国産のものより国産の方が安心できる」と言っていました。国産どころか地元産のものだったら新鮮しんせんだし、より安心できると思います。

矢野…とれた地域から遠くへ運ぶためにトラックを使うと、たくさんのがソリンが必要になります。そうすると輸送費ゆそうひが高くなるし、大量の排気ガスはいきを出すことになるので環境かんきやうにも良くありません。地元の直売所ちくばいで販売するなら、運ぶきよりが短くなるので輸送費を節約することができ、排気ガスの量を減へらすこともできます。

先生…それら以外にも消費者と生産者のきよりが近くなることによって、地元農業かっせいかが活性化して地域全体の活性化につながると言われています。

糸井…地産地消はいいことばかりだと感じますが、何か問題点はあるのでしょうか。

大山…生産者にとっては、地元の直売所よりも高値たかねで売ることのできる都会に出荷した方がいい場合もあると思います。それに、地域で生産されるものだけだったら不足する食材もありそうです。

矢野…それでもあらためて注目されるようになったのは、問題点よりも利点の方が多いためだと思います。

第一問

三人の人物が地産地消の利点を述べていますが、だれがどんな利点を述べましたか。「こと」に続くようにそれぞれ二十五字以内（句読点をふくむ）で説明しなさい。

第二問

——線部「地元農業が活性化」とありますが、それはなぜですか。会話文の内容をふまえて四十字以内（句読点をふくむ）で、考えて答えなさい。